

第9期第3回 新潟市中地区公民館運営審議会 議事概要

日 時： 令和6年7月22日（月） 午前10時～午前11時40分
場 所： 新潟市中地区公民館 4階講座室
出席者： 新潟市中地区公民館運営審議会
石井委員、遠藤委員、海津委員、齊川委員、佐藤委員、永井委員、
野本委員、坂内委員、古川委員、良知委員
事務局： 中地区公民館（青柳、池田、吉田）、石山地区公民館（山田、大野）

1 開会

2 中地区公民館長 あいさつ

3 委員から一言ずつ

4 議事

（1）令和5年度事業報告について

- （事務局） 令和5年度事業報告について説明。
（委員） 中地区公民館と石山地区公民館の区域分けはどうなっているのか。
（事務局） 中学校区で分けている。
（委員） 石山の子ども体験事業は、保護者の方も来たのか。
（事務局） 送り迎えだけである。
（委員） 寄席の定員に対し参加者数が多いのは、立ち見なのか。
（事務局） 会場や駐車場の関係もあり、1回40人で2回実施して、合計80人である。駐車場の問題があり、事業の最大定員は40人としている。
（委員） 事業のチラシは、区全域で配布しているのか。
（事務局） 学校絡みのものは、地域を限定することもあるが、通常は区や地域を問わず配布している。

（2）令和5年度決算概要、令和6年度予算概要について

- （事務局） 令和5年度決算概要、令和6年度予算概要について説明。

（3）令和6年度新潟市公民館事業の基本方針

- （事務局） 令和6年度新潟市公民館事業の基本方針及び令和6年度東区公民館運営方針を説明。
（委員） 公民館のインターネット環境が良くない解消のメドはどんな感じか。
（事務局） 予算要求はしているが、予算がつかず難しいところである。今年度の幼児期家庭教育学級は、オンライン開催だったが、講師の方や事務局が中央公民館に出向き実施した。要求は続けていきたい。
（委員） 中地区公民館の「ジュニア防災」だが、東新潟中で行うことにな

った経緯は。

(事務局) 昨年の地域コーディネーター研修会で、東新潟中の教頭先生と話す機会があり、そこから話が広がった。中地区公民館から、お声がけして実現することになった。地震が昼間に起こった場合、大人たちは地域外に行っている人が多く、地域にいるのは中学生を中心とした子どもたちである。初動時の対応を考えると、中学生にも防災の知識を持ってもらうことが大切である。

(委員) 学校でも色々な指導を行っている。マンパワー対策としては、中学生の防災教育がとても有効である。各学校に声がけをしていくことが大切なのではないか。

(事務局) 大形中にもお声がけをしたが、今年是实现しなかった。機会を見つけ、お声がけをしていきたい。

(委員) 学校に声がけをするなら、学校側のスケジュールが決まってしまう前に早目にしたほうが良い。

(委員) 学校への声がけを工夫すると良い。各校長が中心になって進められればいいのだけど。

(委員) 公民館と桃山小が一緒に行っている事業が良いと思っている。山の下小は児童数も少なく、中学校で人数が多くなる。中1ギャップを解消したい。中学校進学の際には、同じ学校になるため、例えば山の下小と桃山小合同での総合学習(授業)など、何か出来ると、両地区のコミュニケーションが取れていいのではないかと思う。

(委員) 公民館の職員が、学校の企画会議に入ってもらえることは可能なのか。学校のスケジュールに防災教育を組み込んでいくなら、そうした方がよいのではないか。地域の人には入ってもらっている。

(委員) 「学校と地域(コミ協)」がキーワードだと思う。個人のつながりに頼ることが多い現状だが、やはり組織的に事業が出来ると、継続性の面からもいいと思う。地域(コミ協)も代が変わると、つながりが切れてしまうかもしれない。

(委員) 公民館と、県立大学の学生と事業での連携がある。学校と地域の連携も大切だが、子どもたちが成長していく将来のことを考えることも必要ではないか。現状では、県外に出て行ってしまう人が多く、若者の人材不足の状態である。若いうちから、地元の会社や地元での仕事を考えることが出来るような場も必要だと思う。そうした視点を、基本方針に入れ込んで欲しい。

(事務局) 県立大学の学生と一緒にいる小学生対象の事業は、中学校を体験してもらうため大形中学校をお借りして行っている。また、若い世代を対象として、地元の歴史等を知る取り組みを行っている。そうしたことで地元愛の醸成を図っていければと考えている。良いアイデアがあれば教えていただきたい。

5 その他事項

(事務局) 各区の公民館運営審議会を新潟市で一本化することについて、スケ

ジュールや検討内容について説明のあとご意見をいただきました。

【意見】

- ・各区、各地域の公民館どうしの連携や全体での意見交換会は必要だと思う。
- ・新潟市は広く、区民特性が異なることから、一本化するメリットは無いのではないか。一本化したとしても、各区の運営審議会を無くすのは時期尚早だと思う。
- ・一本化することはいいが、各区の運営審議会を無くすのはいかがかと思う。両者、若干目的が異なるので両方ある方が良いのではないか。
- ・一本化された組織の少数の方々に、大きい市全体の全てを任せるのはいかがかと思う。形骸化が進み、地域意見の反映が難しくなるのではないか。
- ・一本化された組織だけになるのか。現在、地域活動が充実しているので、一本化することは残念である。
- ・現在の運営審議会は公開されているが、活動協力員の会議等は公開されるのか。会議の公開を担保していただきたい。
- ・会議自体が大きくなりすぎてしまうのではないか。まとまりがつくのか心配なところがある。
- ・情報交換が出来ることは良いことだが、地域の特性を考えた公平性、公正性は必要である。
- ・正直、難しいと思うが、一本化するのであれば組織的な工夫が必要だと思う。

6 連絡事項など

(1) 令和7年度公民館事業提案シートの提出について

(事務局) 8月5日(月)までに提出を依頼

(2) その他

(事務局) アスベスト対策に関する現状の情報提供

【配布資料】

1. 第9期第3回中地区公民館運営審議会 会議次第
2. 令和5年度事業報告(資料1-1、1-2)
3. 令和5年度決算概要・令和6年度予算概要(資料 2-1、2-2)
4. 令和6年度新潟市公民館事業の基本方針(資料 3-1、3-2)